R6-4
令和６年(2024)年 ４月 30 日

家畜衛生広報 ながの

長　野　家　畜　保　健　衛　生　所
北 信 家 畜 畜 産 物 衛 生 指 導 協 会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax.026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

ダメ、絶対！

注射針の連続使用

近年、牛伝染性リンパ腫（EBL）の発症牛が増加しています。
この疾病は注射針や吸血昆虫を介し、目に見えない量のごくわずかな血液によって感染します。本疾病を拡散させないために、血液が付着するような以下の器具は、連続で使用しないでください。

１回使用で捨てるもの
- ■ 注射器（注射筒）
- ■ 注射針
- ■ 直腸検査用手袋　など

１頭ずつ洗浄・消毒するもの
- ■ 耳標装着用アプリケータ
- ■ 鼻環装着用アプリケータ
- ■ 削蹄用カマ　など

分からないこと、不安なことがあれば家保にご相談ください！

EBL 対策、できていますか？　チェックしてみましょう！

□注射針は１頭１針、直腸検査用手袋は１頭ずつ交換を確実に実施

□除角、去勢、削蹄、耳標装着、鼻環装着等の出血を伴う処置への適切な対応
（止血、器具の消毒等）

□分娩時の隔離・分娩房の洗浄

□感染牛の初乳は子牛に給与しない
（非感染牛の初乳、初乳製剤、加温処理した初乳を給与）

□吸血昆虫対策（サシバエ、アブ等）

□牛の配置や搾乳順の工夫

□定期的な検査と計画的な更新

しあわせ信州

消毒は伝染病予防の第一歩